

解答

問一 あ 反論 い 仮〔に〕 う 責〔められる〕 え 苦痛 お 製造

問二 エ

問三 イ

問四 ウ

問五 (1)

問六 (2)

問七 I

問八 ア

問九 ア

I 無駄 II 仕事 III 最終的な稲の収量には影響がない
IV 百姓の情感

めぐみ II 準備

イ × イ × ウ ○ エ ×

三

問一 A 顔 B 念

問二 近頃すこく横暴になったデカをこらしめてやろうと思ったから。

問三 足の運

問四 こらしめて

問五 エ

問六 ア

問七 ウ

問八 イ、オ

解説

一

問三

——線部②の後に着目します。田んぼでの作業は「技術」ではなく「仕事」に属し、その人がその人なりの生き方で決めることであると述べています。「仕事」には百姓の情感が含まれているので、仕事のやり方は百姓のまなざしや経験、情愛によって大きく左右されるという内容から、選択肢イが最もふさわしいとわかります。

問八 本文では、農業は「技術」ではなく、百姓の情感が含まれる「仕事」によって、成り立つことが大切であると説明しています。「技術」をもとに考えた「生産性向上」などが、小賢しいと述べていることから選択肢アが選べます。

二

問六

——線部⑥の前後に着目します。必死の形相で走り、ぼくたちを突き飛ばすようにして坂を駆け降りていったデカを見て、ヤスは成功だな、とつぶやき、ぼくたちはコーヘイの得意そうな姿を想像し、心配がなくなって安心している様子から、選択肢アがふさわしいことがわかります。

問八 本文はぼくの立場から描かれ、ヤス、デカ、コーヘイの様子は三人の会話や行動から読み取れるので選択肢イが選べます。また、天気が次第に悪くなり、遠くに聞こえていた雷鳴が近づくことや、猿の鳴き声などから、不安が増す様子が伝わってくるので選択肢オが選べます。